

# 国立民族学博物館と学術交流及び協力に関する基本協定書の締結

## ～日本・モンゴル民族博物館の活動の更なる飛躍に向けて～

日本・モンゴル民族博物館を設置する豊岡市は、国立民族学博物館と学術交流及び協力に関する基本協定を締結した。

### 1 経緯

- (1) 日本・モンゴル民族博物館では所蔵資料の鑑定調査を課題としており、2023 年度から島村一平教授（国立民族学博物館人類文明誌研究部長、モンゴル研究専攻）による調査に着手している。
- (2) 国立民族学博物館と協定を結ぶことで、日本・モンゴル民族博物館の所蔵資料に関する研究活動を進展させると共に、幅広い分野での交流及び協力を図ることとした。

### 2 協定の内容

#### (1) 協定締結日

2024 年 9 月 1 日（日）

#### (2) 相手方

大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立民族学博物館（館長 よしだ けんじ 吉田憲司氏）

#### (3) 目的

国立民族学博物館と、豊岡市が設置する日本・モンゴル民族博物館が相互に連携を図り、交流・協力を推進することにより、学術研究、教育活動及び地域社会の発展に資することを目的とする。

#### (4) 学術交流・協力事項

- ア 研究活動に関すること
- イ 教育活動に関すること
- ウ 研究交流及び人材交流に関すること
- エ 施設及び設備の相互利用に関すること
- オ その他本協定の目的のために双方が必要と認める活動に関すること

#### (5) 協定の有効期間

協定締結日から 3 年（更新可）

### 3 今後の主な活動（予定）

- (1) 国立民族学博物館の研究者による日本・モンゴル民族博物館所蔵資料の研究
- (2) 所蔵資料や学習キットの相互貸借
- (3) 国立民族学博物館の研究者や日本・モンゴル民族博物館の学芸員による研究交流

### 4 国立民族学博物館館長 吉田憲司氏のコメント ※原文のまま

豊岡市立日本・モンゴル民族博物館は、モンゴル仏教の仏具や経典、タンカ（仏画）

や伝統楽器、そして社会主義時代の絵画といったコレクションを多く所蔵されています。また、これまでモンゴル高原および但東の豊かで多様な文化と自然環境について、世代を超えた学びの場を提供してこられました。それは、貴館が学術的のみならず地域振興の点においても、非常に重要な役割をになってこられたということを意味しているといえるでしょう。この度の協定締結によって、一層、貴館と国立民族学博物館の協力が深化していくものと期待しております。豊岡市の皆様の益々のご発展をお祈り申し上げます。

〔問合せ〕 豊岡市立日本・モンゴル民族博物館 TEL 0796-56-1000